

ビジョンと目標の声明

マーク・ダニエル・マローニー
Mark Daniel Maloney

幸運にも会長に選ばれば、私はロータリーをより良いものにするためにほかのリーダーと精力的に協力します。

私が主に重点を置くのは、ロータリーの心臓部であるクラブのサポートと強化です。ロータリーのリーダーたちは今、ロータリーが奉仕活動を行う会員組織なのか、会員を擁する奉仕団体なのか、決めかねています。クラブこそ、ロータリーの本体なのです。ロータリーは、今も、そして今後も、奉仕活動を行う会員組織です。クラブの形態は何通りかあるべきですが、クラブを基本とする会員制を保持しなければいけないという方針に私は従います。

そして、会員増強の様々な問題に前向きに対処します。英国、北欧、オーストラリア、北米では、ロータリーの会員数は伸び悩んでいます。日本と同じく、高齢化の問題に直面しているのです。アジアでは会員数は上向きですが、リーダーからは数よりも質に重点を置きたいという声もあがっています。ドイツなど欧州諸国では、ロータリアンの地位は高く、安定した伸びを見せています。ですから、画一的な解決策では望み通りの結果は得られません。地域独自の問題に対処するロータリアンの永続的な組織が必要だと私は考えます。この組織は正式な委員会の枠組みと、ロータリアンが実施しやすい行動計画を備え、クラブに働きかけなくてはなりません。

また、私はポリオ撲滅後の世界におけるロータリーの将来の方向性を定めるべく、ロータリーのリーダーたちに働きかけ、会員たちに意見を求めます。ポリオ撲滅という偉業を成し遂げた暁には、ロータリーの認知度は非常に高くなり、数多くの機会に恵まれることでしょう。この時こそ、より多面的な提携関係を活用すべき時なのです。多くの団体がロータリーとの提携を求めるようになります。ロータリーの活動は注目を集め、よいことを行う世界的な発信源となれるかもしれません。

1年間に詰め込みすぎと思われるかもしれませんが、実現可能なのです。皆さんと力を合わせればかならず成功すると信じています。